

藤和けんこう通信



2014年10月号 VOL.48

You Tube 藤和マッサージチャンネル開設

発行元：藤和マッサージ（訪問マッサージ・はりきゅう）

相模原院042-855-0420 町田院042-851-7528 海老名院046-204-5482



藤和マッサージチャンネルを開設 ～研修動画を共有～

研修内容を院全体で情報共有するために藤和マッサージとしてのYouTubeアカウントを作成し、研修時に撮影した動画をアップしました。さらなる施術技術・知識向上を目指して、新たに取組みを開始しました。今回は『自分の意志で動きがとれない患者様への施術』をテーマに行いました。

認知症また寝たきり状態など自分の意思で動けない患者様の筋力維持リハビリ（下肢・頸部から背筋・上肢）を笹川雄司が講師を務めて研修を行いました。今後はコメント欄など使って意見や要望を頂きたいと思っております。



ヘルパーさん向け マッサージ講座開催しませんか？

介護施設の職員さん向けに、簡単マッサージ講座を介護施設で開催致しませんか。簡単なマッサージ方法やマッサージのメカニズム・注意点などのマッサージ講座を無償でさせていただきます。ご希望の関係者様どうぞ遠慮なく声をかけて下さい！※先日、介護施設さんから内部の勉強会向けに何か講師を務めて欲しいとの依頼から、このような企画を考えました。誰かの役に立てるのであれば大変嬉しく思います。どこへでも伺いますので、宜しくお願いします。



女性から
ベテランまで



馬場悦子 野々村颯 大川寛 石井武司 丸山修一 加幡賢史 長谷川佳汰 代永涼子

幅広いスタッフ
が揃っています！



須藤 新 長谷川加代 添田 真理子 板垣 鋭司 梶本多佳子 小木野貴史 近藤マチ子 岩本友保 野田英次郎 石井 旭 笹川雄司 若井清美



ミス・トラブル報告及び改善書

報告①ベッドの柵の戻し忘れ

内容: 施術の際、介護用ベッドの柵を外したが、施術終了後柵を戻し忘れる

原因: 柵を外した事を忘れた・施術後に確認を怠った・柵を見やすい所に置かずにいた

改善点: 外した柵を見やすい位置に置いておく、施術後にベッドの柵も含めて施術した前の状態・位置にあるか必ず確認する

報告②訪問先への遅刻

内容: 初めて訪問する施設の場所が分からず定刻に遅れる

原因: スマホ携帯での地図ナビに頼って移動していたが、スマホ携帯の動作不良で地図ナビが使えなくなり、場所が分からなくなってしまった。

改善点: スマホ携帯だけに頼らず、事前に地図で確認しておく。紙ベースの地図を訪問車に置いておく。

小さなミスが大きなトラブルになる事を肝に銘じて再発防止・業務改善に努めます。

アルプスの杜陽光台さん 納涼祭



8月30日(土)にいつもお世話になっている、アルプスの杜陽光台さんにて納涼祭が開催されました。藤和マッサージは『健康スポーツテスト』のブースを出させて頂きました。毎年参加させて頂いておりますが、年々納涼祭のスケールがパワーアップしていて、入居者さんのご家族、地域の方々などたくさんの参加者が楽しんでいました。今回から、通常のスポーツテストに加えて、下肢筋力チェックとコップタワー早積みタイムトライアルの種目も追加しました。

再掲載

利用者様・患者様から頂いた心に残る一言大賞 エピソード募集しています!



利用者様・患者様から頂いた心に残る一言大賞 エピソード募集要項

募集内容	介護・医療の現場で利用者様・患者様から頂いた心に残る一言を募集します。その一言にまつわるエピソードも書いて下さい。(最大800文字以内)
募集期間	2014年8月20日～2014年10月20日
地域・対象	県央地域(相模原・座間・大和・海老名・綾瀬・厚木)及び町田市地域で活躍する介護・医療関係者の皆さん
応募方法	専用用紙にご記入いただき、郵送またはFAXで応募して下さい。 応募先FAX: 042-851-6442 郵送先: 〒252-0314 相模原市南区南台4-13-23(藤和マッサージ宛)
発表・表彰式	10月25日(土)午後7時00分より 場所 おださがプラザ(小田急相模原駅4階文化交流プラザ)にて、それぞれエピソードを発表し、来場者全員による投票で大賞を決定します。
賞品	最優秀賞 クオカード(5000円分) ※エピソードを応募頂き、発表表彰式に参加頂いた方には漏れなくクオカード(500円分)を進呈します。

発表・投票・表彰式

10/25(土)午後7時

場所/おださがプラザ

(小田急相模原駅4階文化交流プラザ)

参加自由/無料 申込不要



ぜんそく治療、患者負担に…東京

(2014年9月14日読売新聞)

「東京大気汚染訴訟」の和解条項に基づくぜんそく患者への医療費助成について、東京都は全額助成している現行制度を見直し、2018年度以降は上限を定めて、18歳以上の患者に自己負担を求めることを決めた。上限額は6000円とする方向で検討している。医療費助成制度は08年に始まり、5年後から見直すことになっていた。原資の大半は国と都、自動車メーカーなどからの和解金で、都によると、今年度中に原資が底をつくという。改正案では、17年度までは都予算で全額助成を継続し、18年度以降は自己負担を求める。和解前から実施している18歳未満の患者への全額助成は続けるが、来年度以降、18歳以上の患者について新規の認定を行わない。患者らでつくる「東京公害患者と家族の会」は12日、都庁で記者会見し、「助成がなくなれば、現在受けている治療を続けられなくなる。18歳になった後も助成は必要だ」と訴え、現行制度の継続を求めた。

「リリカ」重い副作用確認

(2014年9月18日読売新聞)

厚生労働省は、神経障害性の痛みの治療薬「リリカ」(一般名・プレガバリン)を服用した後、劇症肝炎や肝機能障害の重い副作用を発症する症例が確認されたとして、製造販売元のファイザーに対し、二つの副作用への注意を促す記述を薬の添付文書に加えるよう指示した。同省などによると、過去3年間に劇症肝炎や肝機能障害の副作用が確認された患者は計11人。このうち、劇症肝炎で死亡した1人と、肝機能障害の7人については、因果関係が否定できないという。リリカは、带状疱疹(ほうしん)後の神経痛や線維筋痛症などの治療に用いられる。

医療福祉施設の屋上緑化、過去最高の実績一癒しの空間

(2014年9月24日医療介護CBニュース)

昨年1年間に医療福祉施設の屋上を緑化した面積と施工件数が、過去最高の実績となったことが国土交通省の調査で分かった。医療福祉施設の屋上緑化が進んだ要因について、同省は「緑を利用したリハビリテーションや療養が注目されてきていることが考えられる」としている。調査は全国の造園建設会社や総合建設会社、屋上・壁面緑化関連資材メーカーなど477社を対象に実施し、223社から回答を得た。病院や診療所、特別養護老人ホームなどの医療福祉施設の2013年の屋上緑化面積は、前年に比べて44%増の4万1699平方メートルとなった。また、施工件数も5年前に比べて倍増し、過去最多の181件を記録した

神奈川県、監察医制度を廃止…横浜市内対象

(2014年9月27日読売新聞)

神奈川県は11日、横浜市内の死因不明遺体を解剖する監察医制度について、今年度末で廃止する方針を明らかにした。2013年4月に「死因・身元調査法」が施行され、新法解剖制度がスタート。監察医制度と同様に遺族の承諾がなくても、警察署長が死因を調べる必要があると判断すれば解剖ができるようになったため、廃止しても影響がないと判断した。監察医制度は終戦直後、GHQ(連合国軍総司令部)の判断で、公衆衛生向上などを目的に創設。人口の多い東京23区と横浜、名古屋、大阪、神戸、福岡、京都市で導入された。犯罪死の疑いが強い遺体を対象に国が行う司法解剖制度と違い、各都府県が運用しており、福岡、京都市では1985年に廃止されている。県(横浜市)では監察医制度に基づく解剖が13年中に1402件行われたが、うち1398件を1人の監察医が担当していたことや、解剖費用(約8万円)を遺族負担としていることなど、問題点も指摘されていた。

発行元

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ
【医療保険適応 訪問マッサージ・はりきゅう】